

会場のご案内

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター別館4Fホール4A

〒103-0028東京都中央区八重洲1-2-16



■電車でお越しいただく場合

東京メトロ東西線日本橋(東京都)駅A1
都営浅草線日本橋(東京都)駅A1
東京メトロ銀座線日本橋(東京都)駅A1
JR京浜東北線東京駅日本橋口
JR京葉線東京駅日本橋口
JR快速エアポート成田東京駅日本橋口
JR快速アクティー東京駅日本橋口

徒歩1分
徒歩1分
徒歩1分
徒歩4分
徒歩4分
徒歩4分
徒歩4分

木村情報技術について

医療関係者へ向けたWeb講演会ライブ配信サービスを年間2,000回行い、延べ95万人に動画配信を提供中。2016年1月ソフトバンク株式会社と「IBM Watson 日本語版」国内初のエコシステムパートナー契約を締結し、同年11月には、AIお問合せシステム「AI-Q」(アイキュー)を発売。医療業界でのシステム構築実績を評価され、2017年度IBM Choice Award Top Strategic Business Partner-Japan受賞。

2019年現在、AI開発に着手して4年の間に90社以上でAIを利用いただく。

導入実績90社中	
ITヘルプデスク	16社
総務	14社
コールセンター	6社
社内製品問い合わせ	9社

他自治体、コンシューマ向けホームページ埋め込み等多数



販路同友会について

神戸製鋼出身の高畠和夫が代表理事となり、中小企業の事業拡大を支援するコンサルティング組織として2016年に大阪で設立。大手企業のOBを中心とした優秀なエキスパート約110名と連携した販路開拓支援やエキスパートの知識や経験を活かしたコンサルティングサービスを提供。

特に販路開拓支援では、他社にはない独自の仕組みとノウハウを有し、現在はエキスパートの増加に伴い、近畿圏だけでなく首都圏にも事業を拡大中。また、当会はビジネスマッチングでは信頼が非常に大切との思いから会員制を採用しており、当会に登録頂いた信頼のおける企業様だけにサービスを提供しているのも特徴の1つ。

木村情報技術株式会社 × 一般社団法人販路同友会共催

AI(人工知能)働き方改革 活用セミナー

これからAIを検討
する方も必見！

～成功事例に学ぶAI時代を
生き抜く企業が今実践すべきこと～

日時 2019年 **12月19日** (木) 15:00～17:00
【個別相談会17:10～】
会場 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター別館4F ホール4A

ご挨拶

Greetings

現在、長時間労働の是正や、テレワーク等の環境整備など、『働き方改革』の実現は喫緊の課題として取り上げられています。

また、近年は経産省から『DXレポート ～ ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～』が出されたこともあり、デジタルトランスフォーメーション(DX)も大きなキーワードとなっています。

そして、私たち企業はそうした課題に対応していくことを求められています。

本セミナーでは、AIを活用した業務改善・生産性向上の観点から、具体的な働き方改革の取り組み事例をご紹介します。

この機会に、是非ともご来場賜りますようお願い申し上げます。

プログラム

Program

15:00 開会挨拶

一般社団法人販路同友会 代表理事 高畠 和夫氏

15:05 AI導入の理想と現実 ～AIをより身近な存在へ これまでとこれからの取り組み～

木村情報技術株式会社 代表取締役 木村 隆夫

15:25 知っておきたいAIのウソ・ホント

木村情報技術株式会社 取締役CIO 橋爪 康知

15:55 成功事例に学ぶAI導入のポイント

木村情報技術株式会社 AI事業部 法人営業部 土屋 滋

16:20 デモンストレーション&質疑応答

木村情報技術株式会社 代表取締役 木村 隆夫

16:50 閉会挨拶

木村情報技術株式会社 代表取締役 木村 隆夫

17:10 個別相談会（事前申込み制）

『AI導入の理想と現実 ～AIをより身近な存在へ これまでとこれからの取り組み～』

木村情報技術株式会社 代表取締役 木村 隆夫

弊社は2005年の起業以来、『人に喜ばれることを判断基準とする』ことを企業理念として、新たな価値を創造し、具現化することを行ってまいりました。2016年には、IBM Watson日本語版を取り扱う日本で最初の企業となり、医療用医薬品のAI質疑応答システムを構築し、多くの製薬会社で採用していただきました。

その後、AIチャットボット『AI-Q』をリリースし、約90社のお客様にご採用いただき、業務改善にご活用いただいております。しかしながら、AIは魔法の杖ではありませんので、ただデータを与えただけでは稼働しません。AI活用のポイントとなるのは学習であり、弊社は学習を受託する部隊も大規模に整えてきました。

また、2019年には、一問一答型AIと文書検索側AIの2つのAIエンジンを搭載した『AI-Brid』のリリースや、オリジナルAIエンジンの開発を行うなど、AIをさらに便利にご利用いただけるような取り組みを継続しております。今回は、弊社の強みであるチャットボットの教師データ作りのノウハウや多業種におけるAIの実践的活用事例を中心に、弊社製品のご紹介と企業様がAI導入にあたり抱える課題についてお話いたします。



『知っておきたいAIのウソ・ホント』

木村情報技術株式会社 取締役CIO 橋爪 康知

働き方改革や業務効率化に関して、大きな期待を持たれているAIですが、必ずしも導入がうまくいっている組織ばかりではありません。うまくいっている組織とうまくいっていない組織には、どのような違いがあるのでしょうか。一つのポイントとして、AIが『できること』、『できないこと』に対する正しい認識を有しているかどうかということがあります。現代のAIは、データを与えておけば何でもできるような、夢のツールというわけではありません。しかしながら、特定の分野においては人間の能力を凌駕していることもまた事実です。AIに関する正しい知識を持ち、正しく利用することで、AIは皆さまのパートナーとして素晴らしい働きをすることでしょう。

本講演では、AIに関して誤解されがちなポイントを取り上げ、AIを導入するうえで失敗しないために最低限知っておきたい内容をお伝えいたします。



『成功事例に学ぶAI導入のポイント』

木村情報技術株式会社 AI事業部 法人営業部 土屋 滋

AIブームと言われる昨今、AIシステムの現実解として流通するチャットボットですが、木村情報技術は、他の企業に先んじて、2016年よりその開発に着手してまいりました。

運用サポートも踏まえたトータルサービスとして、AIを用いた業務効率化のお手伝いをさせていただき、現在では約90社のお客様にシステムを活用いただいております。

AI導入のポイント、AI安定運用のロードマップ、業務効率化以外の意外な効果、など、AIチャットボット開発から4年間、積み重ねてきた多数の導入事例から見てきたポイントについて実際の導入事例をもとにご紹介いたします。

